

主要輸出相手国(1977年)

	構成比
米国	69.8%
英国を除くEC諸国	6.3%
日本	5.8%
英国	4.5%
その他	13.6%

主要輸入相手国(1977年)

	構成比
米国	70.2%
英国を除くEC諸国	5.6%
日本	4.3%
英国	3.6%
その他	16.9%

カナダの対外直接投資

	1971年		1975年	
	(単位 100万カナダドル)			
米国	3,399	5,680	87	159
アルゼンチン及びブラジル	815	1,113	34	72
英国	590	1,019	299	439
フランス	87	215	1,227	1,977
その他				
合計	6,538	10,674		

カナダにおける直接外国投資 (単位 100万カナダドル)

	1971年		1975年	
米国	22,443	32,194	269	434
英国	2,715	3,717	187	258
オランダ	460	678	1,402	1,892
フランス	442	665		
西独				
日本				
その他				
合計	27,918	39,838		

製造部門における協力関係

日本経済は、今や円高の時代に入っており、したがってコストを下げ、かつそれによって市場のシェアを維持ないし拡大していくために、外国市場になるべく近く、あるいは外国市場そのものの内部に工場を配置しようという意識が、日本のメーカーの間で高まりつつある。アメリカとカナダでは、最近多くの分野で発展が見られたが、中でも最大の重点が置かれたのは家庭用電子機器、とくにテレビの組立てである。またカナダは日本製自動車の一大輸入国で、昨年一年間の輸入額は四億カナダドルに上った。しかも他の海外市場と違って、カナダは、日本車の輸入を抑制しようという試みが政府のなく見られないという点で、実に問題のない市場であった。しかし現在、カナダの大手自動車メーカーによる投資計画が緊急の課題となっており、この点では

は、ベースロード(常時供給)用の発電を石油から石炭へ転換させるつもりであると発表したが、一方で今後数年のうちには石炭火力発電への大規模な投資計画が実施される見通しもあり、これらによって日本と主要産炭国との間では、今後、発電用石炭の貿易が盛んになることは必至であろう。世界でも最大級の石炭埋蔵地域をいくつか持ち、あらゆる質の石炭に恵まれた国として、カナダがここ十年以内に日本に対する発電用石炭の主要供給国になることは、ほぼ確実といつてよい。しかしこれも、探鉱・開発と採掘技術への開発費が大規模に投資されてのことである。

おわりに

先進国首脳会議の参加国の中で、カナダは対日貿易収支がかなりの黒字を示している唯一の国である。しかしだからといって、その貿易関係が満足すべきものと考えているわけではない。カナダは、今後とも、日本に対する農産物と原材料

非カナダ市場に注目してもらいたい。もし北米での生産活動で製品の付加価値が十分に高められれば、日本のメーカーの作った自動車であっても、カナダとアメリカとの間で締結されている、二国間の自動車の輸出入は無関税とするという米加自動車貿易協定の恩恵を受けることができる。自動車組立て用の部品も、関税がかからない。したがって、日本企業が北米で自動車または自動車部品の生産を始める場合には、工場を是非カナダに設立するようわれわれは期待している。

伸びる製造部門

一九七九年カナダ経済の見通し

カナダにはカナダ経済の「工業の後退化」を嘆く人々がいる。だがカナダ国立経済研究所が最近発表した季刊報告書「国内経済予測」によれば、こうした嘆きを裏付ける証拠は見当たらないようだ。この報告書によれば、一九七九年の製造部門の実質成長率は、資源産業の二倍になるものと予測されている。また、大きな伸びが予想されているサービス部門にして

の主要供給国となることを望む一方、将来はこれらの製品の付加価値を高めた状態で輸出が行なわれることが肝要だと考えている。このことはすなわち、日本は原材料の不経済な使用を余儀なくされている部門を、ある程度縮小しなければならぬ、ということだ。今後十年間にこのような措置が予想される部門は、たとえば非鉄金属の精錬、その他エネルギー集約型の一次産業部門などであろう。また、もし日本が、適当な価格の原材料を十分に供給してくれる海外の主要資源生産国に今後頼っていくつもりであるならば、日本も工業製品や重機類の国内市場の一定シェアを外国に対して開かねばなるまい。

産業別見通し

「国内経済予測」によれば、雇用、所得、経済成長の各点に関してサービス部門への依存度をかなり低目に考えなければならぬようである。一九七九年の実質商品生産高の伸びは約五パーセントと見られ、サービス生産高より完全に二パーセントはオーバーする。商品部門とサ